

グローバル  
知財戦略フォーラム  
2016

IoT時代の産業生態系を見通して知財マネジメントをデザインできる人財をいかに育成するか  
— ポジショントーク —

富士フイルム株式会社  
知的財産本部  
浅見 正弘

# IoT 時代とはどんな時代か

## ■ Internet of Things をどう考えるか

“Things” を「モノ」と捉えてしまうとデバイスしか見えなくなる  
「コト」と捉えることで起きうる変化が見えてくる

社会生活上のあらゆる行為が Internet でつながる\*時代・・・

- \* 操作に必要な情報がリアルタイムで得られる(知識、技能の拡張)
- 膨大な操作結果情報が蓄積・利用される(Big data feed back)
- 機械動作を精密かつ状況に応じて自律制御できる(自動運転)
- 動作結果から学習し、進化できる(深層学習・人工知能)

異分野間の新たな結合がイノベーションを続々と生み出す時代・・・

富士フイルムでも多様な事業のそれぞれに大きい変化を予測している

# IoT とオープン&クローズ

- Internet of Things によるオープン化パワーの強大化  
つながるにはプロトコルの共通化が必須、拒めばドロップアウト  
参加プレイヤーの急激な増加による付加価値の急減

オープン化の持つ二つの側面を理解することが必要

知識・技術の統合、発展

障壁の消失、強みの無力化

その中で クローズ化できるコアはありますか

そして クローズ化できますか

知財マネジメントの腕の見せ所です

# 産業生態系はどう変わるか、どう変えられるか

## ■ Internet of Things による産業の変化

企業活動が Internet でつながれたことを前提に行なわれる

研究、開発、生産、販売、物流、購買・・・

サプライチェーン、バリューチェーンの変化

デジタル化情報—技術、ノウハウの複製容易化、管理精緻化

情報の量的増大、リアルタイム性向上、利用の深化

サービス提供の変容、顧客参加(包含)型ビジネス

付加価値のシフト、偏在、embedding

私たちの経営する殆どの事業が変化に直面していると見るべき

同時に、変化を起こすチャンスとも見るべき

# 知財マネジメントをデザインできる人財とは

## ■ IoT 時代の知財マネジメントのデザイン

design : to make, plan or intend something for a particular purpose  
to think of and plan a system  
to decide how something will work by making models

自社のビジネス構想を生態系の中で明確に描く

優位なポジションを強化するためのコアを切り出す

競合の強みを無力化するポイントを生態系に組込む

その上で、コア囲込み、確実なクローズ化のための知財マネジメント

同時に、参入障壁を解消するオープン化のための知財マネジメント

知財部門であっても、自社のビジネス構想を生態系の中でグローバルに描き、そのための知財をマネジする人財が必要になります…

その育成が今日の話題です

本日はよろしくお願ひいたします